

太陽と情熱の国スペインの旅

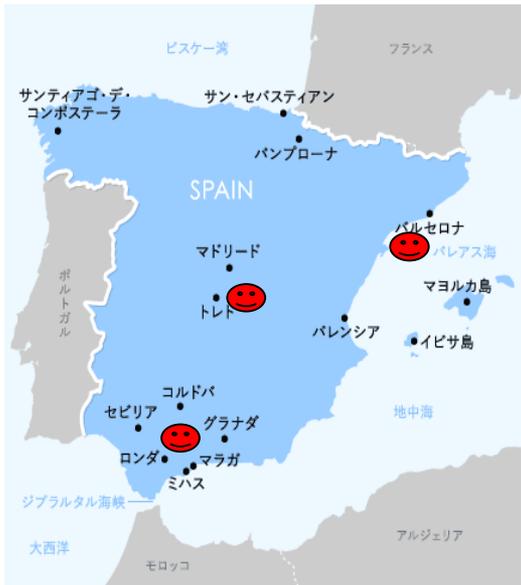
2018年9月6日～9月11日



スペイン研修のスケジュール他

スペイン王国概要

■面積	50.6万平方キロメートル（日本の約1.3倍）
■人口	約4,646万人（2016年7月）
■首都	マドリード（マドリード市の人口約315万人）
■言語	スペイン語、バスク語、カタルーニャ語等
■宗教	約75%がカトリック教徒
■観光	年間約8,200万人（2017年）の外国人観光客



スケジュール

	地名	時刻	項目	スケジュール <宿泊地>
9月6日	成田	10:35		パリ17:15初マドリード着19:20
	マドリード	20:30		ホテルチェックイン
		21:30	夕食	レストラン ラ. テラサ. デ. カジノ(ジャケット、タイ、靴)
9月7日	マドリード	9:30	視察	サン・ミゲル市場、マヨール広場、ソル、コルテ・イングレス（百貨店）
		13:00		ソル広場
	マドリード	14:00		スペイン高速列車（約2時間30分）でセビリアへ
	セビリア	17:00		ホテルチェックイン
		18:00	視察	サンタ・クルス街（ユダヤ人街）. アルカサル散策、大聖堂
		20:30	夕食	レストラン・ロプレス
22:30		鑑賞	フラメンコ	
9月8日	セビリア	8:30	視察	アシエンダ・デ・グスマン（アセスール社社長の邸宅とミニ・オリーブ博物館）
		11:00		邸宅付随のオリーブ畑、馬車のコレクション見学
		11:30	視察	イベリコメーカー（コンサルハブ・ゴ社訪問） ハブ・ゴの村
			昼食	軽い昼食とイベリコハムの食事、ハムの工場と農園視察
		19:00		スペイン広場、黄金の塔、マエストランサ 視察
		20:30	夕食	Abades Triana
9月9日	セビリア	9:10		空路、バルセロナへ チェックアウト7:00
		13:00	昼食	レストラン・カン・ソレにてバリエヤの昼食
	バルセロナ	15:00	視察	バルセロナ市内視察
		19:00		市内観光（サグラダ・ファミリア、グエル公園、音楽堂等）
	21:00	夕食	Capet Comets5	
9月10日	バルセロナ	8:30	見学	ポケリア市場
		10:00		ショッピング、自由時間
		18:00		バルセロナ空港20:25発 AF1249でパリへ
9月11日	羽田着	18:20		到着 解散

6日7日 マドリード

マドリードの基本情報

- スペインの首都であり、政治・経済の中枢を担うマドリード
- 人口 300万人を越えるヨーロッパ有数の最大都市
- 気候 内陸性気候のマドリードは空気が乾燥しています。
9月の最高気温26度 最低気温15度
「実際の気温は+5℃」
- 服装 1日の寒暖の差が激しいので、脱ぎ着しやすい服を持って行くとよい。**カジュアルな服装。**
- 通貨 ユーロ 約1ユーロ (日本円 約132円)
- チップレストラン：会計の5-10%

サン・ミゲル市場



☆☆La Terraza del Casino 6日ディナー

3つ星のサラカインで修業したシェフ、パコ・ロンセロ氏が腕をふるう2つ星レストラン。



エル コルテ イングレス



マヨール広場



7日セビリア

セビリア基本情報

- セビリアは、スペイン南西部、アンダルシア地方の政治、経済の中心地で、人口約70万人のスペイン4番目の都市。
- セビリアは、闘牛とフラメンコの本場。
- ほとんどの商店は午後2～3時間の休みを取ります。
- 気温 9月最高気温31.6 平均気温24.7最低気温18.9
「実際の気温は+6～7℃」

スペイン高速鉄道 AVE

1992年にマドリッドMadrid～セビーリャSevilla間の高速新線の開業にともない、導入された高速列車がAVEである。



サンタ・クルス街 (旧ユダヤ人街)



レストラン ロブレス 夕食

セビリア大聖堂近くにあるロブレスは、セビリアでは有名な老舗レストランです。セビリア伝統の郷土料理が中心で、常に地元の方々に賑わっています。



大聖堂



8日 セビリア

イベリコハムメーカー：Consojabugo S.L 【ハブーゴ村】

日本でも高級豚肉としてすっかり定着したイベリコ豚。なかでも、アンダルシ州のウエルバ県ハブーゴ村産のものは最高級とされ、ハブーゴ村はイベリコ豚のD.O.（原産地呼称制度）に登録されています。森の恵みであるきのこやドングリを食べるので脂身には不飽和脂肪酸を多く含み、運動量も多いため赤身の肉であることが大きな特徴です。



オリーブオイルメーカー：Aceites del Sur - Coosur S.A.

訪問施設：HACIENDA GUZMÁN.（同社の経営者の自宅兼オリーブオイルのミニ博物館）コロンブスの子息が造った荘園と言われ、建物がセビリアの文化財



8日セビリア

世界一美しいスペイン広場

[セビリア](#)市中心部南寄りにある広場の名称。



レストラン アバデス トリアナ 夕食



黄金の塔 セビリア

セビリアの街中を流れる川、グアダルキビール川沿いに立つ12角形の塔で、かつては検問や防衛の役割を担っていた。1220年に建てられ、当初は金色の陶器パネルで覆われていたことが名前の由来。現在、内部は海洋博物館になっている。塔の上からは街の景色が一望できる。



マエストランサ闘牛場

18世紀に建てられた格式ある闘牛場。闘牛は4～10月の日曜、祝祭日に開催される。中は闘牛博物館もあり、オリジナルグッズを販売するショップがある。闘牛場周辺も闘牛にちなんだバルが多い。



9日バルセロナ

レストラン、カン、ソレ 昼食

100年以上の歴史のある港の近くのシーフードレストラン。魚介類は市場からではなく直接船から買い入れており、どれもとても新鮮で、シンプルなおいしさを味わえる。パエリアもおすすめで、バレンシア米を使用した本格的なバレンシア風パエリアが食べられる。



グエル公園

グエル公園はガウディの大スポンサーでもあり、理解者でもあったグエル伯爵が計画した英国風の庭園式住宅地です。



サグラダ、ファミリア

「サグラダ・ファミリア」は、世界的に有名なカタロニアの建築家アントニ・ガウディにより建設が始まった、バルセロナのバシリカで、現在、スペインの観光名所の中で、マドリッドのプラド美術館やアルハンブラ宮殿などの有名な観光名所を抜いて、最も観光客が訪れている、スペイン旅行にははずせない必見の観光名所です。



世界遺産カタルーニャ音楽堂

世界遺産カタルーニャ音楽堂はモンタネールによって設計されたモダニズム建築の傑作。溜め息が出るほど美しい装飾の内部。



Capet Comets 5 9日ディナー

カジュアルな店ですが、料理としてバルセロナのフュージョン料理をかなり意識した料理を提供する店との評判。



ポケリア市場

バルセロナのメインストリート、ランブラス通りにある『ポケリア市場』。鮮魚・肉・野菜・フルーツ・お菓子・調味料など、ありとあらゆる食材が彩も鮮やかに並び、買い物客でごった返している様子はまさに「バルセロナの台所」。



スペインの食文化

タパスとは

ワインやお酒を楽しんでいるときに、食べる一品料理全般。タパスには、乾き物、冷菜、温菜の3つのジャンルがある。



ピンチョスとは

ピンチョスは、スペイン語で爪楊枝や串という言葉で、さまざまな食材を串に刺して、つまんで食べる料理。



スペイン人にとってのバルは、生活に欠かせない存在



スペイン料理に欠かせないのがオリーブオイル。



オリーブオイル



代表する料理 パエリア

ジャバニカ米と野菜、魚介類、肉などの食材と共にそのスープを米に炊き込む料理。スペインではランチに食べる。



宿泊ホテル

Hotel Paseo Del Arte 6日マドリード

住所 Atocha 123, Madrid, 28012, Spain
Tel: [+34 91 298 48 00](tel:+34912984800) Fax: +34 91 298 48 50



Gran Hotel Torre Catalunya 9日バルセロナ

住所 AVENIDA DE ROMA 2-4, Barcelona, 08014, SPAIN
Tel: (34) 93 6 00 6 999 Fax: (34) 93 292 7973

